

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

万寿台地区倉田通りが竣工

『朝鮮新報』2012年7月4日付によれば、同年6月20日、2011年5月から進められてきた、平壤・万寿台地区の倉田通りの建設が終わり、現地で竣工式が行われた。通りには、国内アパートとしては最高層の45階建てをはじめ、全14棟の高層アパートが並ぶ。今年元日の3紙共同社説は、朝鮮を発展した「社会主義文明国」に輝かそうと呼びかけている。『朝鮮新報』は、倉田通りはその有りようの集大成だと、国内での評価は高いと報じている。もともと同地区には、約2,500世帯があったが、今回2,784世帯が建設された。

朝鮮で5価ワクチン接種開始

2012年7月12日発『朝鮮中央通信』によれば、北朝鮮で同日より百日咳、ジフテリア、破傷風、B型肝炎、インフルエンザ好血菌bに対する5価ワクチン接種が開始された。このワクチン接種は北朝鮮の保健省とGAVIアライアンス、世界保健機関（WHO）、国連児童基金（UNICEF）との緊密な協力でワクチン接種の準備が進められ、全国的に5価ワクチンを導入することのできる土台が十分に築かれた、と報じられている。また、このワクチンの接種により、北朝鮮におけるミレニアム開発目標の達成に大きく寄与できる展望が開かれると期待されている。

綾羅人民遊園地が竣工

『朝鮮新報』2012年8月22日付によれば、同年7月25日に平壤の綾羅人民遊園地が竣工した。22ヘクタールの敷地内には、各種のプール、遊園地、ショーを楽しめるイルカ館などがある。プールの営業期間は7月から9月までで、営業時間は午前10時から18時、入場料は300ウォン（公定レートで約230円）とのことである。

遊園地の営業時間は18時から24時で、2010年に開園した凱旋青年公園遊園地（平壤市）同様、夜間営業の形態を取っている。入園料は20ウォン（公定レートで約15円）で、別途乗り物料金がかかるとのことである。

朝鮮で初となるイルカ館では、ショーが楽しめることあって、人気を博している。イルカショー観覧ホールの座席数は1,492席あり、公演時間は約20分。イルカ館の営業時間は10時から20時で、入場料は500ウォン（公定レートで約390円）とのことだ。

北朝鮮各地で大雨被害、死傷者300人以上

『朝鮮新報』2012年8月9日付によれば、6月末から7月31日までの台風、豪雨の影響で、各地で169人が死亡し、144人が負傷。行方不明者は400人に上るとのことである。

平安南北道と慈江道、咸鏡南北道をはじめ各地で、8,600世帯の家屋が全壊および半壊し、4万3,770世帯で浸水するなど、21万2,200人に被害が及んでいる。また1,400棟もの学校、病院、工場などが浸水、建物が崩れ落ちるなどの被害にあっている。農地も6万5,280ヘクタールが流失、埋没、浸水している。平安南道で2万1,900ヘクタール、平安北道で2万3,400ヘクタール、咸鏡南道で5,670ヘクタール、咸鏡北道で7,220ヘクタールの被害が報告されているとのことである。

北朝鮮で注目集まる産業デザイン

『朝鮮新報』2012年8月8日付によれば、北朝鮮では近年、産業デザインに注目が集まっているとのことだ。北朝鮮では2010年、国の産業デザイン部門全般を管理指導し、統制する機関である中央産業デザイン指導局が新たに登場、2012年4月には金日成主席生誕100周年を記念して、国家産業デザイン展示会が平壤で開催された。会場である国家産業デザインセンターは今年新設された。中央産業デザイン指導局は、朝鮮商標および工業デザイン、原産地名事務所、朝鮮産業デザイン協会（2011年10月創立）の名義で対外交渉事業も行っている。2012年5月には、平壤で朝鮮商標および工業デザイン、原産地名事務所と中国国家工商行政管理総局間の協力に関する了解文が調印されたそうだ。

内閣副総理を新たに任命

2012年8月18日発『朝鮮中央通信』によれば、これまで金属工業相を務めていた全勝勲氏を内閣副総理に任命された。関連する最高人民会議常任委員会の政令が同日、発表された。

金永南委員長、伊投資グループ理事長と会見

『朝鮮新報』2012年8月8日付によれば、最高人民会議常任委員会の金永南委員長は同月23日、平壤の万寿台議事堂で表敬訪問したイタリア総合投資グループのジャンカルロ・エリア・パロリ理事長と会い談話を交わした。パロリ理事長は同22日、朝鮮労働党の金永日書記とも談話を交わし、金正恩第1委員長への贈物を託した。

第2回羅先国際商品展覧会開催

第2回羅先国際商品展覧会が2012年8月20日～23日、羅先市の羅先展示館で開催された。北朝鮮、中国、ロシア、チェコ、スウェーデン、米国などから110の企業と貿易会社に参加し、電気・電子製品、軽工業品、食料および医薬品、水産加工品、家庭用品など各種商品が展示され、連日多くの羅先市民や外国人ビジネスマンで賑わった。

（ERINA調査研究部長・主任研究員 三村光弘）